

一般粉じん発生施設設置(使用、変更)届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

八 戸 市 長 様

届出者 〇〇県〇〇市〇〇1-1-1
株式会社〇〇 ※押印不
代表取締役 〇〇 〇〇

要

大気汚染防止法第18条第1項(第18条第3項、第18条の2第1項)の規定により、一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇八戸工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	八戸市〇〇2-2-2	※受理年月日	年 月 日
一般粉じん発生施設の種類	1 コークス炉 2 鉱物又は土石の堆積場 3 ベルトコンベア及びパケットコンベア 4 破碎機及び摩砕機 5 ふるい	※施設番号	
一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙のとおり。	※審査結果	
		※備考	

- 備考 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

一般粉じん発生施設(コークス炉)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1	
名称及び型式		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社製コークス炉〇〇型	
設置年月日		年月日	年月日
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	年月日
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	年月日
規模	原料の処理能力(t/日)	700	
	炉室数	30	
	炭化時間(h)	15	
装炭作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社製バグフィルター〇〇型	
	集じん機効率(%)	99	
	送風機の原動機出力(kW)	700	
窯出し作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社製バグフィルター〇〇型	
	集じん機効率(%)	99	
	送風機の原動機出力(kW)	700	
消火作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式	消火設備〇〇型	
参考事項			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設(堆積場)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 2			
名称及び型式		原料堆積場			
設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	年 月 日	
規模	面積(m ²)	2, 000			
	堆積能力(t)	2, 000			
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量(t/年)		砂(比重 2、粒径 0.1~1.2mm、水分 20%、堆積量 150,000)			
使用及び管理の方法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要		屋外		
	散水	装置の種類・型式・基数	□□社製スプリンクラー 〇〇型 5基		
		装置の能力(m ³ /h)	2		
	散水の方法		受入れ時及び乾燥した際 随時		
	防じんカバーの設置状況				
	薬液散布	薬液の種類・名称			
		装置の種類・型式・基数			
		装置の能力(m ³ /h)			
		散布の方法			
	締固め	装置の種類・型式			
方法					
その他	方法				

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
 - 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量(たとえば散水の場合は水量l/t)、実施頻度等を記載すること。
 - 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
 - 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設(コンベア)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 3		
名称及び型式		□□社製ベルトコンベア ○○型		
設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		○○年○○月○○日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		○○年○○月○○日	年 月 日	年 月 日
規 模	ベルト幅(cm)又はバケツト内容積 (m ³)	ベルト幅 80		
	単基の長さ(m)×基数	15×5		
	ベルト又はバケツトの速度 (m/分)	ベルトの速度 50		
	運搬能力(t/h)	砂 3,000		
運搬物の種類、性状及び通常の月間運搬量 (t/h)		砂(比重 2、粒径 0.1 ~1.2mm、水分 20%) 運搬量 1,500		
使 用 及 び	コンベアがその中に設置されている 建築物の概要		屋外	
	集 じん 機	集じん機の種類・型式		
		集じん機効率(%)		
送風機の原動機出力(kW)				
管 理 の 方 法	散 水	装置の種類・型式		□□社製スプリンクラー ○○型
		装置の能力(m ³ /h)		3
		運搬量当たり散水量(l/t)		1
防じんカバーの設置状況		防じんカバー設置		
その他	方 法			

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

一般粉じん発生施設(破碎機、摩砕機、ふるい)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 4	No. 5	
名称及び型式		□□社製ショークラッシャー○○型	□□社製トロンメル○○型	
設置年月日		年月日	年月日	
着手予定年月日		○○年○○月○○日	○○年○○月○○日	
使用開始予定年月日		○○年○○月○○日	○○年○○月○○日	
規模	原動機の定格出力(kW)	50	50	
	処理能力(t/h)	70	30	
処理対象物の種類及び通常の間処理量(通常) (t/月)		碎石 3,000	砕砂 3,000	
使用及び管理の方法	破碎機、摩砕機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要		鉄骨トタン張り	鉄骨トタン張り
	集じん機	集じん機の種類・型式	□□社製バグフィルター○○型	
		集じん機効率(%)	99	
		送風機の原動機出力(kW)	55	
	散水	装置の種類・型式	□□社製○○型	□□社製○○型
		装置の能力(m ³ /h)	2	3
		処理量当たり散水量(l/t)	0.1	0.15
	防じんカバーの設置状況		防じんカバー設置	防じんカバー設置
	その他	方	法	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。